

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 (仮称)六地蔵駅前プロジェクト B敷地

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

スコアシート						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40		-	<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>		3.0	1.00	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>		2.0	0.35	4.0	1.00	3.9
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能	記入例;エアフローウインドウの採用	3.0	0.38	4.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		3.1	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用		3.6	0.30	3.0	0.50	
1 昼光率		4.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	-	3.0	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	3.0	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	3.0	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	-	3.0	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	1.00	3.0	0.50	
3 内装計画		3.0	0.30	3.0	-	
1.3 維持管理		3.0	0.50	3.0	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	3.0	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	3.0	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.0	0.30	3.0	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	3.0	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	3.0	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	3.0	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	3.0	-	
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.20	3.0	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	3.0	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	3.0	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	3.0	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	1.汚水:耐火二層管 2.雑排水:耐火二層管 3.給水:SUS・HIVP管	5.0	0.20	3.0	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	3.0	-	
2.4 信頼性		2.6	0.20	3.0	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	3.0	-	
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	3.0	-	
3 電気設備		3.0	0.20	3.0	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	3.0	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	3.0	-	



		2.8	0.30	2.5	1.00	2.5
3	対応性・更新性					
	3.1 空間のゆとり					
	1 階高のゆとり			2.0	0.50	
	2 空間の形状・自由さ			2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性	2.8	1.00			
	1 空調配管の更新性	3.0	0.20			
	2 給排水管の更新性	2.0	0.20			
	3 電気配線の更新性	3.0	0.10			
	4 通信配線の更新性	3.0	0.10			
	5 設備機器の更新性	3.0	0.20			
	6 バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
Q3	室外環境(敷地内)		0.30			2.2
1	生物環境の保全と創出	1.0	0.30			1.0
2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40			3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.30			2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50			
	3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50			
LR	建築物の環境負荷低減性					3.0
LR1	エネルギー		0.40			3.4
1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.20			4.0
2	自然エネルギー利用	3.0	0.10			3.0
3	設備システムの高効率化	3.4	0.50			3.4
	燃焼系潜熱回収瞬間給湯器(エコジョーズ)採用					
4	効率的運用	3.0	0.20			3.0
	集合住宅以外の評価					
	4.1 モニタリング					
	4.2 運用管理体制					
	集合住宅の評価	3.0	1.00			
	4.1 モニタリング	3.0	0.50			
	4.2 運用管理体制	3.0	0.50			
LR2	資源・マテリアル		0.30			2.7
1	水資源保護	2.2	0.20			2.2
	1.1 節水	1.0	0.40			
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60			
	1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70			
	2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30			
2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.60			2.9
	2.1 材料使用量の削減	2.0	0.10			
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20			
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20			
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20			
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10			
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0	0.20			
3	汚染物質含有材料の使用回避	3.0	0.20			3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30			
	3.2 フロン・ハロンの回避	3.0	0.70			
	1 消火剤					
	2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50			
	3 冷媒	3.0	0.50			
LR3	敷地外環境		0.30			2.9
1	地球温暖化への配慮	3.5	0.33			3.5
2	地域環境への配慮	2.3	0.33			2.3
	2.1 大気汚染防止	3.0	0.25			
	2.2 温熱環境悪化の改善	2.0	0.50			
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	2.2	0.25			
	1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25			
	2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25			
	3 交通負荷抑制	1.0	0.25			
	4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25			
3	周辺環境への配慮	3.1	0.33			3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40			
	1 騒音	3.0	0.50			
	2 振動					
	3 悪臭	3.0	0.50			
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40			
	1 風害の抑制					
	2 砂塵の抑制					
	3 日照障害の抑制	3.0	1.00			
	3.3 光害の抑制	3.7	0.20			
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70			
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30			